

13156 保育内容研究・表現Ⅱ a、b Studies in Nursery School Materials: Expression II		3 年次～ 前期 2 単位	
担当者	信太 進	履修可能学科	Pc
		関 連 資 格	保育必（P c）
サブタイトル	幼児の造形表現		
授業内容・ねらい	小さな子どもに初めて紙とパスを与えると、すぐ線が引けることに気づいてその行為や感触を楽しむことをおぼえます。やがて、線の跡を何かに見立てて意味をつけるようになりますが、しばらくの間は線を引いたり塗ったりたくったりして遊びます。この線遊びが、しだいに意味のある意図した描画の線に変化していくのです。 幼児は、遊びの中で成長に欠かすことのできない貴重な経験を重ねていきます。造形的な表現もまた遊びのひとつと捉え、幼児が楽しむことができる表現遊びについて理解を深めましょう。 この授業の目的は、具体的な保育計画をもとに、幼児の発達の段階に応じた実践的な造形表現の保育方法を学習することです。 【努力目標】 幼児の造形表現の発達段階を理解し、段階に応じた保育活動に必要な造形的な知識と技術を身につけること。		
授業計画	① 幼児の発達と描画 1 - 線による描画 ② 幼児の発達と描画 2 - 色による描画 ③ 手をつかって遊ぶ 1 - 手形遊びの計画 ④ 手をつかって遊ぶ 2 - 手形遊びの展開 ⑤ 手をつかって遊ぶ 3 - 粘土遊びの計画 ⑥ 材料や技法を楽しむ 1 - クレヨン遊びの計画 ⑦ 材料や技法を楽しむ 2 - 絵の具遊びの計画 ⑧ 材料や技法を楽しむ 3 - 材料遊びの展開 ⑨ 思いえがいて遊ぶ 1 - 「楽しい思い出」の計画 ⑩ 思いえがいて遊ぶ 2 - 読みきかせ描きの計画 ⑪ 思いえがいて遊ぶ 3 - 読みきかせ描きの展開 ⑫ おもいを伝える 1 - 「大好きな人」の計画 ⑬ おもいを伝える 2 - 「おおきくなったら」の計画 ⑭ おもいを伝える 3 - 「おおきくなったら」の展開 ⑮ まとめ - 理解と共感について		
教科書 参考書	参) 『幼稚園教育要領』 『保育所保育指針』		
評価方法	提出課題と、出席状況・授業態度を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			